

市町村名	宮古島市						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	スポーツ観光交流拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	企画政策部振興開発プロジェクト局	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	595,000	-	1,650,000	-	
		(b) 予算現額	753,650	-	2,383,027	-	
		(c) 増減額 (b-a)	158,650	0	733,027	0	
		(d) 繰越額	-	571,541	-	1,436,490	
		A. 計 (b+d)	753,650	571,541	2,383,027	1,436,490	
	B. 執行済額		182,109	571,533	946,537	1,436,490	
	うち交付金充当額		145,687	457,226	757,229	1,149,192	
	次年度繰越額		571,541	0	1,436,490	0	
	執行率 (%) (B/A)		24.2%	100.0%	39.7%	100.0%	
予算の状況の説明		平成27年8月から11月にかけては、工事が順調に進捗した結果、28年度の工事工程も一部実施できる見込みとなったため、交付金の追加増額を行い工事を進めていたが、平成27年12月から平成28年1月にかけて、降水量が例年と比較して約3倍を記録するほど雨天が続いた影響から、現場作業の進捗に不測の日数を要し、建設工事工程に遅れが生じた。また、進入路整備工事に伴う用地交渉において、一部地権者との交渉期間が予定より長引いたことから進入路整備工事及び現場技術業務の発注に至らず、平成27年度内の完了が困難な状況となったため次年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・スポーツ観光交流拠点施設整備(建築工事・電気設備工事・機械設備工事) 【施設面積】 建築面積:5,912㎡、延床面積:5,847㎡	目標	(実施設計)	(各種法令申請手続)	(工事実施)	()	
		実績	実施設計	各種法令申請手続	工事実施		
	・施設建設工事監理委託業務	目標	()	()	(監理実施)	()	
		実績			監理実施		
	・進入路整備工事	目標	()	()	(工事実施)	()	
		実績			工事実施		
	・現場技術管理	目標	()	()	(管理実施)	()	
		実績			管理実施		
達成状況説明	施設建設工事(建築1工区)(建築2工区)(電気設備1工区)(電気設備2工区)(機械設備1工区)(機械設備2工区)は、年度内に発注・契約を行い工事着手したが、平成27年12月～平成28年1月にかけての記録的な雨天の影響から、年度内に目標の工程を達成できなかったため、繰り越しにて達成した。 また、用地交渉において一部地権者との交渉期間が予定より長引いたことから、用地買収及び所有権移転手続きと進入路整備工事は繰り越しにて完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	施設整備1期工事分の完了 建築工事:躯体工事完了、鉄骨・屋根材等発注(進捗率70%)を目標 電気設備:建築工事1期分に係る整備(進捗率60%)を目標 機械設備:建築工事1期分に係る整備(進捗率50%)を目標	目標	(基本計画策定)	(実施設計)	(建築確認申請、法規 手続き)	(工事実施)	()
		実績		実施設計	建築確認申請、法規手続き	工事実施	
	進入路整備の完了	目標	()	()	()	(整備完了)	()
		実績				整備完了	
	進捗状況説明	施設整備1期工事分の完了として、目標値を設定し工事を進めたが、平成27年12月から平成28年1月にかけて降水量が例年と比較して約3倍を記録するほど雨天が続いた影響から、現場作業の進捗に不測の日数を要した結果、建築工事の工程に遅れが生じ、付随する電気設備工事と機械設備工事も年度内に目標値を達成できず繰り越しにて達成した。また、進入路整備についても、一部地権者との用地交渉期間が予定より長引いたため、工事発注に遅れが生じ、繰り越しにて完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(P)活動目標及び成果目標を達成するには、工事工程を円滑に進める必要があった。 (D)そのため週1回、受注者と発注者で工程会議を現場で行い、現場の進捗と今後の予定工程の確認を行った。 (C)その取り組みの成果もあり、平成27年8月から11月にかけては、工事が順調に進捗していたが、平成27年12月から平成28年1月にかけて想定できない例年の約3倍の降水量を記録する雨天の影響から、工事工程に遅れが生じた。	工程会議の開催によって、受注者などから意見を聴取できるので全体工程の把握が行える。実例では、平成28年度に発注した建築3工区の発注時期の見直しである。建築3工区は、発電機室の建設のため、建物が完成しないと非常用発電機の搬入・据付が困難であるため、電気設備工事の工程に影響を与えるものであった。非常用発電機の製作期間を考慮し、建築3工区の発注時期の予定を早め、全体工程に影響が出ないように工夫を行った。
今後の取り組み方針		
(A)想定できない記録的な天候に直面し、工事工程に遅れが生じて受注者と発注者で全体工程を改めて検討し、工程会議を重ねることで全体工期内に完成することができた。 (P)平成28年度には、建築3工区、機械設備3工区、外構工区及び進入路整備工事の早期発注と工期内完成に取り組み、最大で11工区の工事工程を管理し、計画通り、平成28年度に事業を完了することができた。今後は、施設の有効利活用のため、企業研修やイベントを誘致し、積極的に観光面での誘客を実施するとともに、スポーツ振興・文化振興の面からもさまざまなイベント利用等ができるように適切に管理運営を行っていく。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
宮古島市 2,383,027千円	委託料 18,468千円	(株)国建・岳設計工 房設計監理共同体 15,968千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事監理委託業務 株式会社 国建 岳設計工房	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額
		(有)地建 2,500千円				
	工事請負費 2,361,559千円	(株)尚輪興建・(株)南西 建設・大成土建(株)JV 858,899千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(建築1工区)	株式会社 尚輪興建 株式会社 南西建設 大成土建 株式会社		
		(株)大米建設・(株)下崎 建設・(株)奥浜組JV 936,192千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(建築2工区)	株式会社 大米建設 株式会社 下崎建設 株式会社 奥浜組		
		(株)大和電工・(株)下崎 工事社・三成技建(株)JV 132,280千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(電気設備1工区)	株式会社 大和電工 株式会社 下崎工事社 三成技建 株式会社		
		(株)三協建設工業・(有) 吉田産業・三和電気JV 80,340千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(電気設備2工区)	株式会社 三協建設工業 有限会社 吉田産業 三和電気		
		(有)松宮開発・日建(株)・ 大和建设(株)JV 52,740千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(機械設備1工区)	有限会社 松宮開発 日建 株式会社 大和建设 株式会社		
		日進電気土木(株)・(株) 丸秀・(資)共和測建JV 263,360千円	スポーツ観光交流拠点施設 建設工事(機械設備2工区)	日進電気土木 株式会社 株式会社 丸秀 合資会社 共和測建		
		(株)古波蔵組 37,748千円	スポーツ観光交流拠点施設 進入路整備工事(1工区)			
	公有財産 購入費 3,000千円	沖縄総合事務局 宮古財務出張所 1,010千円	スポーツ観光交流 拠点施設用地購入			
個人(5名) 1,990千円						
資金 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○指名競争入札以外の業者選定については、宮古島市契約規則及び地方自治法第167条の2を遵守し、適正な随意契約を行っている。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模については、不用額がなく、適正規模であったと考えている。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・行途については、事業実施に際し必要なのか等、支出に関する書類により確認を行い適正であった。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		宮古島市					
平成27年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-② 宮古島市海業センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ		
担当部課名	農林水産部 水産課		事業実施（予定）年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備	
						Ⅲ-1-(6)	
事業内容	水産業の振興に向け、安定的な種苗生産供給体制や養殖業の生産性向上の支援を図るため、その拠点となる海業センターの機能強化を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	27年度（繰越）
	予算の状況	(a)当初予算額	21,000	—	13,500	51,480	—
		(b)予算現額	21,000	—	13,223	51,480	—
		(c)増減額(b-a)	0	—	▲ 277	0	—
		(d)繰越額	—	—	—	—	32,865
		A. 計(b+d)	21,000	—	13,223	51,480	32,865
	B. 執行済額		21,000	—	13,223	18,615	32,864
	うち交付金充当額		16,800	—	10,578	14,892	26,291
	次年度繰越額		—	—	—	32,865	—
	執行率（％）(B/A)		100.0%	—	100.0%	36.2%	100.0%
予算の状況の説明		床掘に係る矢板工法の変更の検討、湧き水の方の調査、ポンプの台数の検討、土間コンクリートの打ち直しの検討などに不測の日数を要し、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため、工事費にかかる32,865千円を28年度に繰越したが、事業は適正に執行された。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	・取水施設建築工事の実施（RC構造1階建・A=25㎡）	目標	（ 測量設計 ）	（ 建築工事 ）	（ ）	（ ）	
		実績	測量設計実施	建築工事実施			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
実績							
達成状況説明	H27年度は取水施設建築設計に基づき、取水施設建築工事及び取水施設建築工事監理委託業務を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（23年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	・H28年度に行う取水管設置工事に向けた着実な事業の実施（取水施設の完成）	目標	（ ）	（ 完了 ）	（ 取水施設の完成 ）	（ ）	（ ）
		実績		完了	取水施設の完成		
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	床掘に係る矢板工法の変更の検討、湧き水の方の調査、ポンプの台数の検討、土間コンクリートの打ち直しの検討などに不測の日数を要し、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため繰越事業となったが、H28年度7月末で取水施設建築工事及び取水施設建築工事監理委託業務を完了した。今後は取水管整備に向けて環境影響等調査業務を実施し、又研修施設建築の準備を進める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・海業センターを機能強化し、種苗生産技術を向上させることで種苗の安定供給につなげ、また、養殖技術の向上のための研修支援を可能にすることで、宮古島市の水産業の振興を図る。 ・平成27年度予定していた取水施設建築工事及び監理委託業務は、床堀に係る矢板工法の変更の検討、湧き水の方向の調査、ポンプの台数の検討、土間コンクリートの打ち直しの検討などに不測の日数を要し年度内の完了が困難な状況となった為、事業計画どおり推進することができなかった。 ・施設の活用に向けては、種苗生産の技術向上に向けた取り組み計画の立案及び漁業者の生産力向上や若手漁業者の育成の為の研修支援並びに体験学習の場としての機会をどのように創出していくか、今後も検討していく必要がある。	・施設整備にあたっては、取水管・研修施設・水槽施設の各施設の内容に関して精査や再検討を行い整備を計画的に行っていく必要がある。 ・施設の有効活用に向けては、種苗生産力の向上に向けた取り組みを行い、また、研修支援については漁業者のニーズを集約し効果的な支援が行えるよう今後も検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成28年度7月末に取水施設を完成し、H28年度事業として環境影響等調査業務を実施した。今後は、取水管、研修施設、水槽施設、太陽光発電設置の施設整備を計画的且つ効率的に事業実施を行っていく。 ・施設の効果的な活用に向け、種苗生産力の向上及び養殖技術向上などの研修支援についてどのように取り組んでいくべきかの再検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
宮古島市 51,479千円 委託料 1,421千円 都一級建築設計事務所 1,421千円 (取水施設建築工事監理委託業務) 工事請負費 50,058千円 (株)富廣建設 50,058千円 (取水施設建築工事)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>51,479</td><td>51,479</td><td>41,183</td><td>10,296</td><td>0</td></tr> </table>		総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	51,479	51,479	41,183	10,296	0			
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
51,479	51,479	41,183	10,296	0										
資金の 用途の 流れ、 費目 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不用額もほとんど無いため、適正であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												